

灯り祭り参加、暑気払いを行いました



8月のはじめ、中央公園では灯り祭りが開かれました。写真は、第2こだま、やまびこの提灯が飾られているあたりです。暗い夜空にほのぼのとした灯りが浮かび上がっていました。背景の緑のフェンスは工事中のものです。残念なことに中央公園はほぼ1年にわたっての工事で非情に狭苦しい通路状態になっています。そんななかでの灯り祭りでした。いつも

の展示場所と違っていましたが、多くの見物のみなさんも第2こだまの灯ろうに足を止めてごらんになっていました。

みんなで灯ろう作りをしました

右の写真は灯ろうづくりの風景です。このようにみんなで作業しました。第2こだまの名前が鮮やかに描かれています。夜なので、利用者のみなさんにとって中央公園に飾られたものは見ることはできませんが丹精込めて作られた様子がよくわかります。こうしてやまびこと、第2こだまデイで20個の灯ろうをつくりました。



暑気払いに家族もあわせて36人が集まりました

灯り祭りと併せて恒例の暑気払いを行いました。例年、スタッフのみなさんと家族のみなさんに気軽に集まってもらっています。『藤乃』から「うな重」（ウナギの苦手な人は「天重」）をとり、暑い夏を吹き飛ばす勢いで平らげました。食べた後は頃合いを見て三々五々に灯り祭り見学です。灯ろうの出来具合、絵の評価などがやがやと見て回りました。暑い夏の1日でしたが元気をもらって明日からの仕事へのエネルギーを蓄えました。まだまだ暑さは続きますが、夏を夏らしく楽しむ1日があった、との思いです。

やまびこ・第2こだまデイサービスでは
介護・ケアマネスタッフを募集中！
あなたも一緒に働きませんか？
資格のない方でも働きながら介護の資格が取れます
042-343-0456または042-349-3655に電話ください

小規模多機能サービス／デイサービス／ホームヘルプ／移動サービス／介護支援センター

第2こだま通信 125号 2026年 8月

小規模多機能サービス やまびこ 小平市津田町3-27-7
TEL 042-349-3655
FAX 042-349-3656

第2こだまデイサービス他 小平市津田町1-13-3
TEL 042-343-0456
FAX 042-313-6605

《発行》特定非営利活動法人地域福祉ネットワーク 第2こだま
ホームページ <http://dai2kodama.org>

ご近所から第2こだまデイに駆けつけて（7、8月）

ハーモニカ演奏会が開かれました
（利用者のみなさんは演奏に合わせて合唱しました）



みなさん、第2こだまデイ・やまびこをどうかよろしくお願いします

暑い夏もやっと通り過ぎようとしています。季節は秋へと移り変わります。季節の変わり目は健康に気を付けなければ、とよく言われます。どうかみなさん、健康に気を付けてさわやかな実りの秋を迎えましょう。

第2こだまは、やまびこもデイも利用者定員を大きく下回り、厳しい状態が続いています。どうかみなさん、ご近所で介護が必要な方をご紹介ください。第2こだまが駆けつけます！

厳しい運営状態、でも元気な第2こだま

2026年度も5か月を過ぎてきました。第2こだまの介護事業は厳しい運営状態が続いています。3年続いて物価高騰が止まりません。そこにきて利用者定員を大きく下回る状況が続いているからです。第2こだまはデイサービスと泊まりのできる小規模多機能サービスのやまびこを軸に運営しています。やまびこでは25年度に新規利用者は8人の方々でしたが、利用できなくなった方が14人に上りました。やまびこは最後の居宅介護といわれています。25年度は居宅での介護をほぼ断念し、施設入所したり、亡くなったみなさんがたまたま多かったのです。第2こだまデイは移転作業で忙殺され、そのことも影響して利用者数を少し減らしました。こうして26年度に入ってきましたが、残念なことに利用者のみなさんが定員に満たないままに推移してきました。8月まで毎月赤字続きでした。もうしばらくは赤字を覚悟せざるを得ません。

それでも第2こだまは元気です。暑かった今年の夏も熱中症アラートぎりぎりのなかを元気に散歩しました。散歩から帰ってくると手作りの昼食が待ってます。利用者のみなさん、ほとんど完食です。なかには高齢のため、食事が厳しい方もおられますが、休まずに通い続けられています。行事もハーモニカの演奏や紙芝居などで楽しみました。スタッフのみなさんも夏の一時金は例年に比べて減らさざるを得なかったのですが、仕事を終えてからの暑気払いの集まりに大勢で参加し、併せて灯り祭りを楽しみました。早くも9月、暑さももうしばらく続きますが、もっと多くの利用者に来ていただける努力を重ね、もっとにぎやかで元気な第2こだま・やまびこにしていきましょう。今年のバザーは新しい第2こだまを会場に開く予定です。どうか地域のみなさんも楽しみにお待ちください。

小平市に要望署名運動を取り組みます

第2こだまでは、夏の間に議論を深め、秋の始めから小平市に要望署名運動に取り組みます。署名用紙を同封しますのでできれば隣近所をお願いして、できなければお一人だけでも署名にご協力をお願いします。用紙は埋まらなくても大丈夫です。

昨年度は国、都、市を併せた要望署名でした。署名が年度末になり、移転問題でばたばたしまして、400人ほど集まった署名を市に提出できませんでした。申し訳ありませんでした。その署名も保管してありますので一緒に提出します。

今回はあらためて、しかも市に相手を絞ってみなさんから署名を集め、市に要望していきますのでよろしくお願いします。

みなさん、介護の要望は何らかの前進があるまで何回でも繰り返し要望していきましょう。少しでも介護要望が実現すれば、今だけでなくこれから介護が必要になるすべての人にとって少しだけかもしれません、明るい人生が開けてくることになります。

今回は4つの要望項目を出しました。昨年から続いているものにひとつだけ加えました。それは4つめの終末期保障制度（ホスピス）の整備です。病院で余命宣告され、退院を迫られた際に行き場がなく困った例が出ているからです。私たちの要望はどれをとってもささやかなものです。制度の枠を少し広げればできるものばかりです。そしてその恩恵は当事者だけでなく市全体に広がります。例えば紙おむつ費の助成です。いつまでも「寝たきり」の限定を設けるのは公正ではありません。必要な要介護のみなさんに広く広げるべきではないでしょうか。

署名期間は9、10月の2か月を目安とします。中間点で1回目の署名を市に提出したく、どうかみなさんのご協力を切にお願いします。

紙芝居ボランティアの方が訪れました…やまびこ7月



我が「やまびこ」に、紙芝居ボランティアの方が訪れ、利用者のみなさんへ心温まるひとときを届けてくださいました。演者の方は、身振り手振りを交えながら、親しみやすい語り口で物語を進め、会場には自然と笑顔が広がりました。手描きの絵やユーモアあふれる表現に、利用者のみなさんは大きく頷いたり、笑ったりしながら熱心に耳を傾けていました。会場では、「懐かしいね。」「次はどうなるの?」といった声も聞かれ、利用者同士の会話も弾む和やかな雰囲気に包まれました。物語の世界に引き込まれ、真剣な表情で見入る姿が印象的でした。紙芝居は、昔を思い出すきっかけになるだけでなく、人と人との交流を深める大切な時間にもなっています。「やまびこ」では、地域とのつながりを大切にしながら、利用者のみなさんが笑顔になれる催しを続けていきたいと考えています。（高木）

通い、泊まり、訪問の小規模多機能サービスやまびこは、通いの定員が16人です。現在3人ほど空きが出ています。雨がふらないかぎり毎日散歩に出かけ、帰れば手作りのおいしい昼食が待っているやまびこをぜひ利用してください。